

自作

あたたかき涙つめたき花の雨

さびしさにネオンの点る花の雨

ふりだして激しからねど花の雨

下水へと真つ逆さまや花の雨

花のなきこんな町にも花の雨

花の雨これぞ俳人冥利かな

花の雨しんから冷えてしまひけり

花の雨には輪郭のなかりけり

花の雨も滑りに来たれ滑り台

花の雨花に狂ひて夜もすがら

~~花の雨降るも俳人冥利なり~~

花の雨寢床に聞くや日曜日

花の雨水の流れとなりけり

花の雨即ち花の傘をさし

花の雨大きな川に長き橋

花の雨大きな川の流れゆく

花の雨昼餉がすんで昼さがり

花の雨朝から降つてゐたりけり

花の雨濡れて鴉の重たけれ

花の雨鴉も濡れ羽色となり

蓋あけて天井匂ふ花の雨

玉砂利を行く人もなし花の雨

寺までの泥濘つづく花の雨

石に降り土を濡らせる花の雨

銭湯に人なつかしき花の雨

朝昼とふつて夜もふる花の雨

土に降り土に溜りし花の雨

夜にかけて雷といふ花の雨

花の雨つひに泥濘み始めけり

2022・4・4【花の雨ハードエッジ】 選32句

17行3段組14ポ 2022年4月4日 12:18 ↑1 ↓桐9

花の雨水の流れとなりにけり あたたかき涙つめたき花の雨

花の雨の流れ流るる滑り台

花の雨朝から降つてゐたりけり 寺までの泥濘つづく花の雨

花の雨ぬれて鴉の重たけれ

花の雨昼餉がすんで昼さがり 下水へと真つ逆さまや花の雨

花の雨すなはち花の傘をさし

花のなきこんな町にも花の雨 蓋あけて天井匂ふ花の雨

石をぬらし土にしみ入る花の雨

浅蜷蛭生きて売らるる花の雨 花の雨も滑りに来たれ滑り台

花の雨川の流れの静かさよ

花の雨しんから冷えてしまひけり 花の雨花に狂ひて夜もすがら

花の雨大きな川の水面かな

花の雨大きな川に長き橋 朝昼とふつて夜もふる花の雨

花の雨昼餉がすんで窓あけて

花の雨大きな川の流れゆく 花の雨つひに泥濘み始めけり

花の雨朝から降つて日曜日

差す傘は花の傘とも申すべく 花の雨ぬれて鴉の濡れ羽色

夜にかけて雷といふ花の雨 銭湯に人なつかしや花の雨

土に降り土に溜りし花の雨 さびしさにネオンの点せり花の雨

玉砂利を行く人もなし花の雨 ふりだしてやがて激しく花の雨

2022・4・4【花の雨ハードエッジ】 選30句

17行3段組14ポ 2022年4月4日 12:19 へ1 桐9

あたたかき涙つめたき花の雨

さびしさにネオンの点せり花の雨

ふりだしてやがて激しく花の雨

下水へと真つ逆さまや花の雨

花のなきこんな町にも花の雨

花の雨しんから冷えてしまひけり

花の雨すなはち花の傘をさし

花の雨つひに泥濘み始めけり

花の雨ぬれて鴉の重たけれ

花の雨ぬれて鴉の濡れ羽色

花の雨の流れ流るる滑り台

花の雨も滑りに来たれ滑り台

花の雨花に狂ひて夜もすがら

花の雨水の流れとなりにけり

花の雨川の流れの静かさよ

花の雨大きな川に長き橋

花の雨大きな川の水面かな

花の雨昼餉がすんで窓あけて

花の雨昼餉がすんで昼さがり

花の雨朝から降つてゐたりけり

花の雨朝から降つて日曜日

蓋あけて天井匂ふ花の雨

玉砂利を行く人もなし花の雨

差す傘は花の傘とも申すべく

寺までの泥濘つづく花の雨

石をぬらし土にしみ入る花の雨

浅蜷蜆生きて売らるる花の雨

銭湯に人なつかしや花の雨

朝昼とふつて夜もふる花の雨

土に降り土に溜りし花の雨

4.5

2022・4・5【花の雨】選30句

花 ぶりだしてやがて激しく花の雨

花 のなきこんな町にも花の雨

花 の雨しんから冷えてしまひけり

花 の雨すなはち花の傘をさし

花 の雨ぬれて鴉の濡れ羽色

花 の雨の流れ流るる滑り台

花 の雨水の流れとなりはつとににけり

花 の雨川の流れの静かさよ

花 の雨大きな川の水面かな

花 の雨昼餉がすんで昼さがり

花 の雨朝から降つてゐたりけり

花 の雨朝から降つて日曜日

花 石をぬらし土にしみ入る花の雨

花 ~~夜~~にかけて雷といふ花の雨

花 の雨ぬれて鴉の重たけれ

花 蓋あけて天井匂ふ花の雨

花 クリームかチョコかと迷ふ花の雨

花 朝昼とふつて夜もふる花の雨

花 銭湯に人なつかしや花の雨

花 さびしきにネオンの点せり花の雨

花 差す傘は花の傘とも申すべく

花 の雨昼餉がすんで窓あけて

花 の雨大きな川に長き橋

花 の雨花に狂ひて夜もすがら

花 あたたかき涙つめたき花の雨

花 下水へと真つ逆さまや花の雨

花 玉砂利を行く人もなし花の雨

花 寺までの泥濘つづく花の雨

花 の雨つひに泥濘み始めけり

花 の雨も滑りに来たれ滑り台

花 あつちんことよのやにの雨

2022・4・5【花の雨／ハードエッジ】 選29句

花の雨の流れ流るる滑り台

花の雨昼餉がすんで昼さがり

石をぬらし土にしみ入る花の雨

ふりだしてやがて激しく花の雨

花のなきこんな町にも花の雨

花の雨ぬれて鴉の濡れ羽色

花の雨川の流れの静かさよ

花の雨大きな川の水面かな

花の雨朝から降つてゐたりけり

さす傘は花の傘とも申すべく

玉砂利を行く人もなし花の雨

花の雨昼餉がすんで窓あけて

花の雨ながるる水となつてゐし

花の雨大きな川に長き橋

花の雨も滑りに来たれ滑り台

花の雨つひにぬかるみ始めけり

寺までの泥濘つづく花の雨

花の雨ぬれて鴉の重たけれ

下水へと真つ逆さまや花の雨

花の雨に風加はりて強まりて

さびしさにネオンの点せり花の雨

花の雨しんから冷えてしまひけり

銭湯に人なつかしや花の雨

〜夜にかけて雷といふ花の雨

朝昼も夜もふるなる花の雨

花の雨花に狂ひて夜もすがら

クリームかチョコかと迷ふ花の雨

蓋あけて天井匂ふ花の雨

あたたかき涙つめたき花の雨

花の雨昼餉がすんで昼さがり

花の雨おほきな川の橋わたる

石をぬらし土にしみ入る花の雨

花の雨も滑りに来たれ滑り台

ふりだしてやがて激しく花の雨

巫女溜りのハンバーガーや花の雨

花の雨ぬれて鴉の濡れ羽色

花の雨昼餉の済みし窓明り

花の雨川の流れの静かさよ

傘させば骨が弓なり花の雨

花の雨大きな川の水面かな

滑り台たらたら花の雨流る

花の雨朝から降つてゐたりけり

花の雨ながるる水となつてゐし

ふりだしていつか激しく花の雨

花の雨つひにぬかるみ始めけり

花の雨花なき町を濡らしけり

寺までの泥濘つづく花の雨

花の雨昼餉がすんで窓あけて

静かさや黒衣の僧が花の雨

花の雨大きな川に長き橋

花の雨ぬれて鴉の重たけれ

花の雨大きな川に橋長し

花の雨に風加はりて強まりて

下水へと真つ逆さまや花の雨

玉砂利を巫女さん帰る花の雨

〜夜にかけて雷といふ花の雨

花の雨花の都に早くも灯

さびしさにネオン灯せり花の雨

朝も昼も夜も降るなる花の雨

花の雨しんから冷えてしまひけり

銭湯に人なつかしや花の雨

花のあめ花にくるひて夜もすがら

クリームかチョコかと迷ふ花の雨

蓋あけて天井匂ふ花の雨

あたたかき涙つめたき花の雨